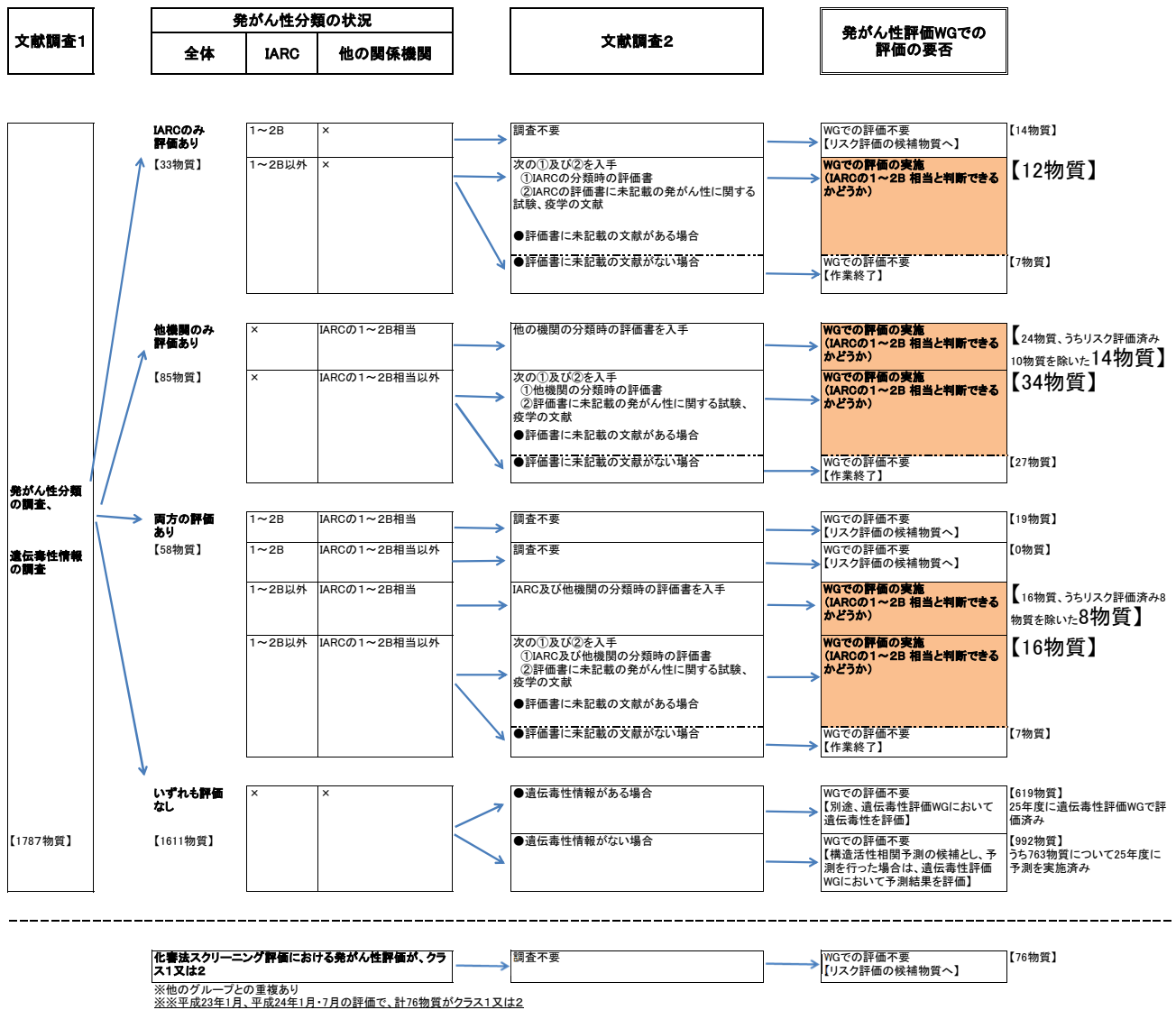


平成25年度の文献調査の結果概要

①平成23年度の医薬食品局の文献調査結果を活用した詳細調査



★発がん性評価WGでの評価が必要な物質: 計84物質

平成25年度の文献調査の結果概要

②平成22年度化審法一般化学物質届出物質のうち、スクリーニング評価において暴露クラス(人有害性)が「クラス5」及び「クラス外」の物質に関する調査

| 文献調査1 | 発がん性分類の状況 | | | 文献調査2 | 発がん性評価WGでの評価の要否 | |
|-------------------------|---|---------------------------|---------------|--|---|--|
| | 全体 | IARC | 他の関係機関 | | | |
| 発がん性分類の調査、 遺伝毒性情報の調査 | IARCのみ 評価あり 【44物質(注)】 | 1~2B | x | 調査不要 次の①及び②を入手 ①IARCの分類時の評価書 ②IARCの評価書に未記載の発がん性に関する試験、疫学の文献 ●評価書に未記載の文献がある場合 ●評価書に未記載の文献がない場合 | WGでの評価不要 【リスク評価の候補物質へ】 | 【0物質】 |
| | | 1~2B以外 | x | | WGでの評価の実施 (IARCの1~2B相当と判断できるかどうか) | 【22物質】 |
| | 他機関のみ 評価あり 【44物質(注)】 | x | IARCの1~2B相当 | 他の機関の分類時の評価書を入手 次の①及び②を入手 ①他機関の分類時の評価書 ②評価書に未記載の発がん性に関する試験、疫学の文献 ●評価書に未記載の文献がある場合 ●評価書に未記載の文献がない場合 | WGでの評価の実施 (IARCの1~2B相当と判断できるかどうか) | 【12物質】 |
| | | x | IARCの1~2B相当以外 | | WGでの評価の実施 (IARCの1~2B相当と判断できるかどうか) | 【9物質】 |
| | 両方の評価 あり 【27物質(注)】 | 1~2B | IARCの1~2B相当 | 調査不要 調査不要 IARC及び他機関の分類時の評価書を入手 次の①及び②を入手 ①IARC及び他機関の分類時の評価書 ②評価書に未記載の発がん性に関する試験、疫学の文献 ●評価書に未記載の文献がある場合 ●評価書に未記載の文献がない場合 | WGでの評価不要 【リスク評価の候補物質へ】 | 【8物質】 |
| | | 1~2B | IARCの1~2B相当以外 | | WGでの評価不要 【リスク評価の候補物質へ】 | 【0物質】 |
| | | 1~2B以外 | IARCの1~2B相当 | | WGでの評価の実施 (IARCの1~2B相当と判断できるかどうか) | 【6物質】 |
| | | 1~2B以外 | IARCの1~2B相当以外 | | WGでの評価の実施 (IARCの1~2B相当と判断できるかどうか) | 【2物質】 |
| | 【化審法の届出 単位で5892物質】 【CAS単位に直 すと約9000物質】 | いずれも評価 なし 【約9000物質】 | x | ●遺伝毒性情報がある場合 ●遺伝毒性情報がない場合 | WGでの評価不要 【別途、遺伝毒性評価WGにおいて 遺伝毒性を評価】 | 【270物質】 26年度に遺伝毒性評価WGで評 価予定 |
| | | | x | | WGでの評価不要 【構造活性相関予測の候補とし、予 測を行った場合は、遺伝毒性評価 WGにおいて予測結果を評価】 | 【約8700物質】 うち約1000物質について26年度 に予測を実施予定 |

(注):調査①と重複する物質を除外してカウント

★発がん性評価WGでの評価が必要な物質:計51物質